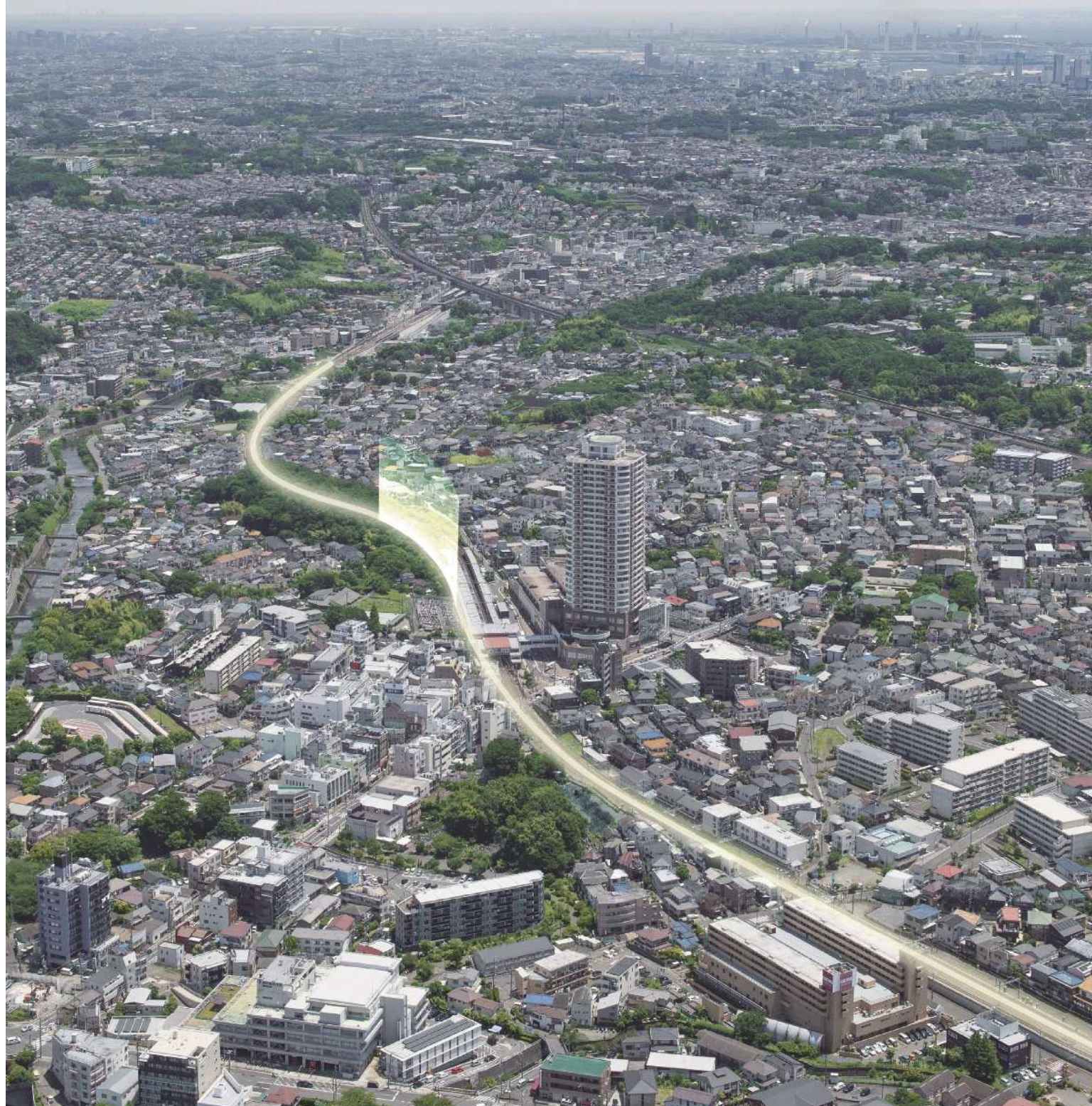


相模鉄道本線

つるがみねえきふぎん

鶴ヶ峰駅付近

連続立体交差事業



事業のあらまし

鶴ヶ峰駅周辺は、道路ネットワークが脆弱であり、踏切が多く存在していることなどから、慢性的な交通渋滞の発生や消防・救急・防災などの緊急活動に影響が出るなど、市民生活に支障をきたしています。加えて、鉄道によりまちが分断されており、歩行者の回遊性や街並みの連続性が確保されていないなど、様々な課題を抱えています。

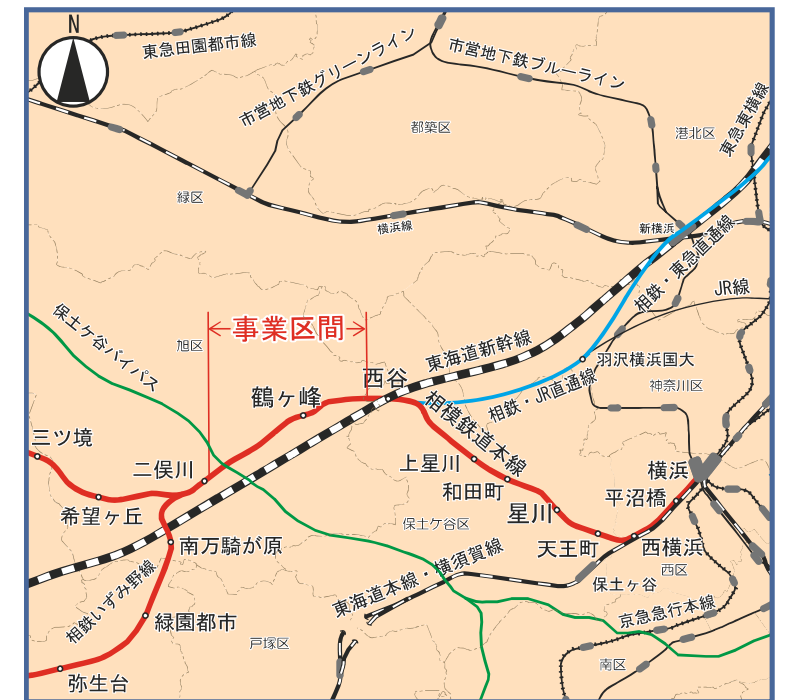
本事業は、西谷駅から二俣川駅間の約2.8 kmについて鉄道を地下化することで、10箇所の踏切を除却します。これにより、「渋滞改善による地域交通の円滑化」、「緊急活動の阻害解消による地域の安全性の向上」、「まちの分断解消による地域の活性化」などが図られます。

また、本事業を契機として、鶴ヶ峰駅北口周辺では、まちづくり構想が策定されており、連続立体交差事業とまちづくりを一体的に進めることで、魅力と活気にあふれるまちになることが期待されています。

事業の経緯

- 都市計画案の告示 令和2年12月
- 都市計画審議会 令和3年11月
- 都市計画決定 令和4年 1月
- 事業認可取得 令和4年 6月

位置図



事業の概要

- 区 間 起点 旭区西川島町
終点 旭区二俣川2丁目
- 延 長 約2.8km
- 構 造 型 式 地下式、地表式
- 駅 施 設 鶴ヶ峰駅
ホーム延長：約210m
ホーム幅員：約4m～6m
- 踏切除去数 10箇所

鶴ヶ峰駅周辺の状況

慢性的な交通渋滞



鶴ヶ峰2号踏切

緊急活動への影響



鶴ヶ峰2号踏切

鉄道によるまちの分断



鶴ヶ峰商店街

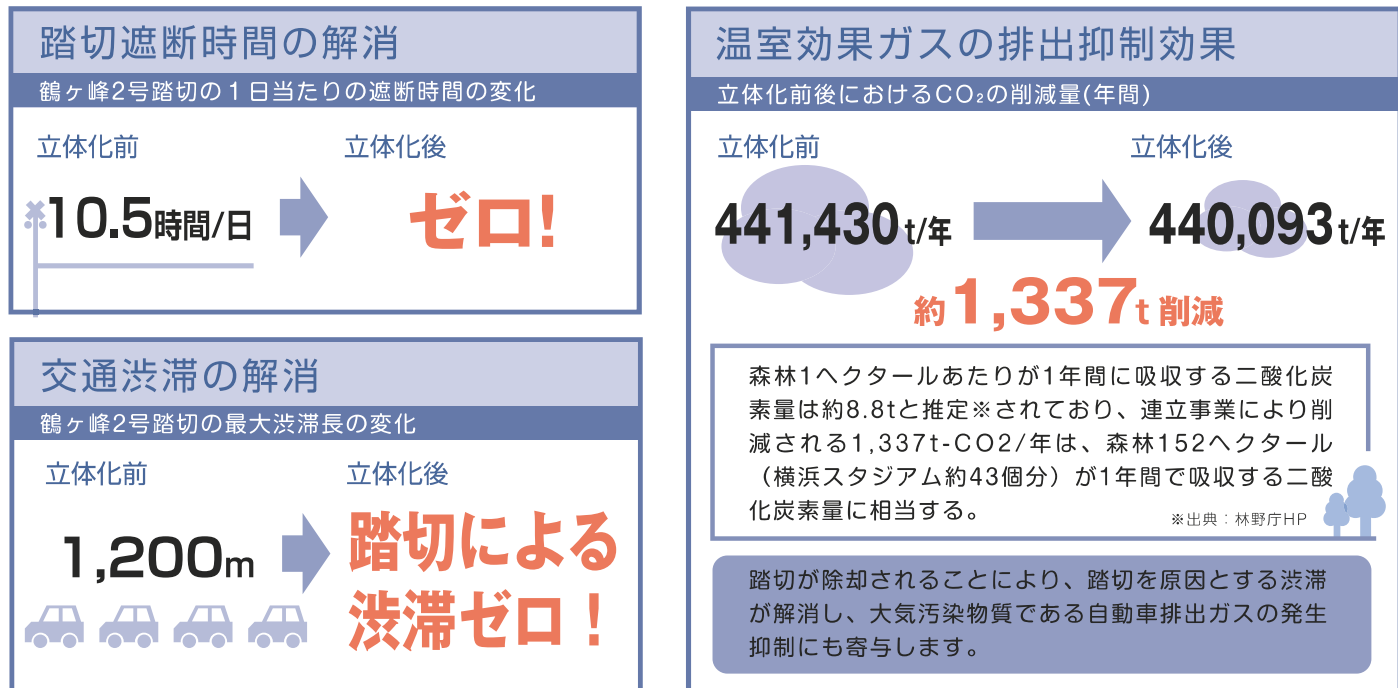
事業の効果

連立事業のストック効果



※ストック効果とは、整備された社会資本が機能することで、整備直後から継続的かつ中長期的にわたって得られる効果です。

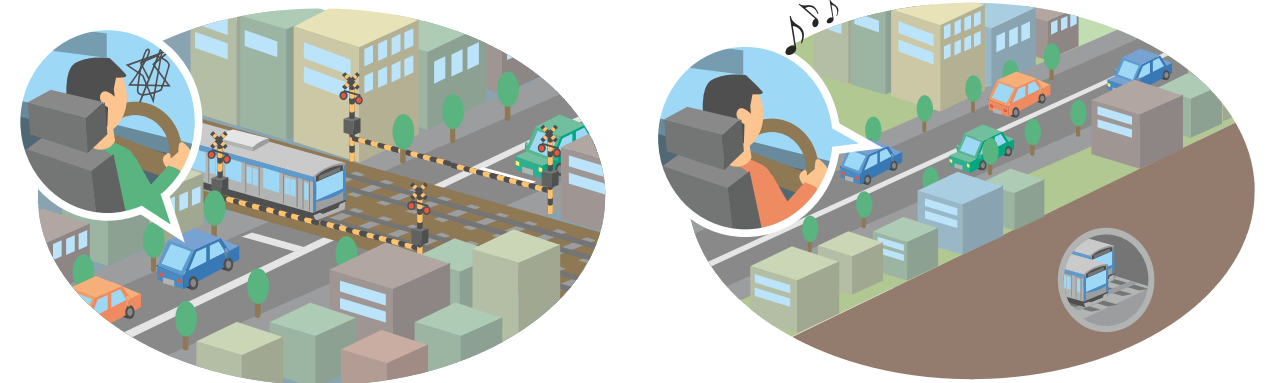
立体化によっての効果



連続立体交差事業とは

「踏切がなくなれば…」と思われることはありませんか？
朝夕の通勤・通学時。踏切待ち時間が長すぎる…。駅はすぐそこなのに、道路は大渋滞！
連続立体交差事業は、このような状況を解消することができる事業です。
まちの中にある鉄道は、踏切による渋滞を引き起こすばかりでなく、まちを分断し、均衡のと

れた発展を阻害することがあります。
「連続立体交差事業」は、都市部における道路整備の一環として、鉄道を高架化または地下化することによって、多数の踏切を一挙に除却し、踏切渋滞、事故を解消するなど都市交通を円滑化するとともに、鉄道により分断された市街地の一体化を促進する事業です。



お問い合わせ先

事業に関すること

横浜市 道路局 建設部 建設課
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10
TEL：045-671-2792 FAX：045-663-8993

工事・用地に関すること

相模鉄道株式会社 施設部 建設課
〒241-0024 横浜市旭区本村町23-11
TEL：045-520-4331 FAX：045-520-4337

HP：

「連続立体交差事業」は、横浜市の都市計画事業として施行するものです。



編集・発行

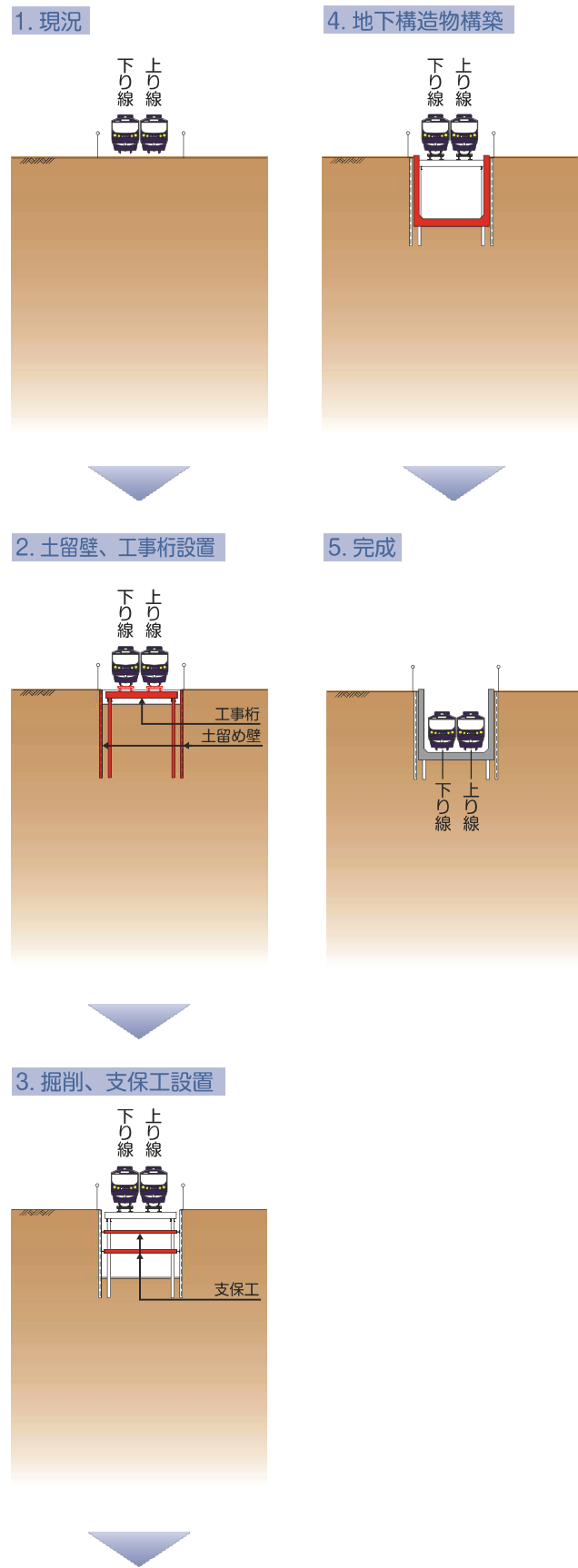
横浜市 道路局 建設部 建設課
相模鉄道株式会社 施設部 建設課

令和5年11月発行

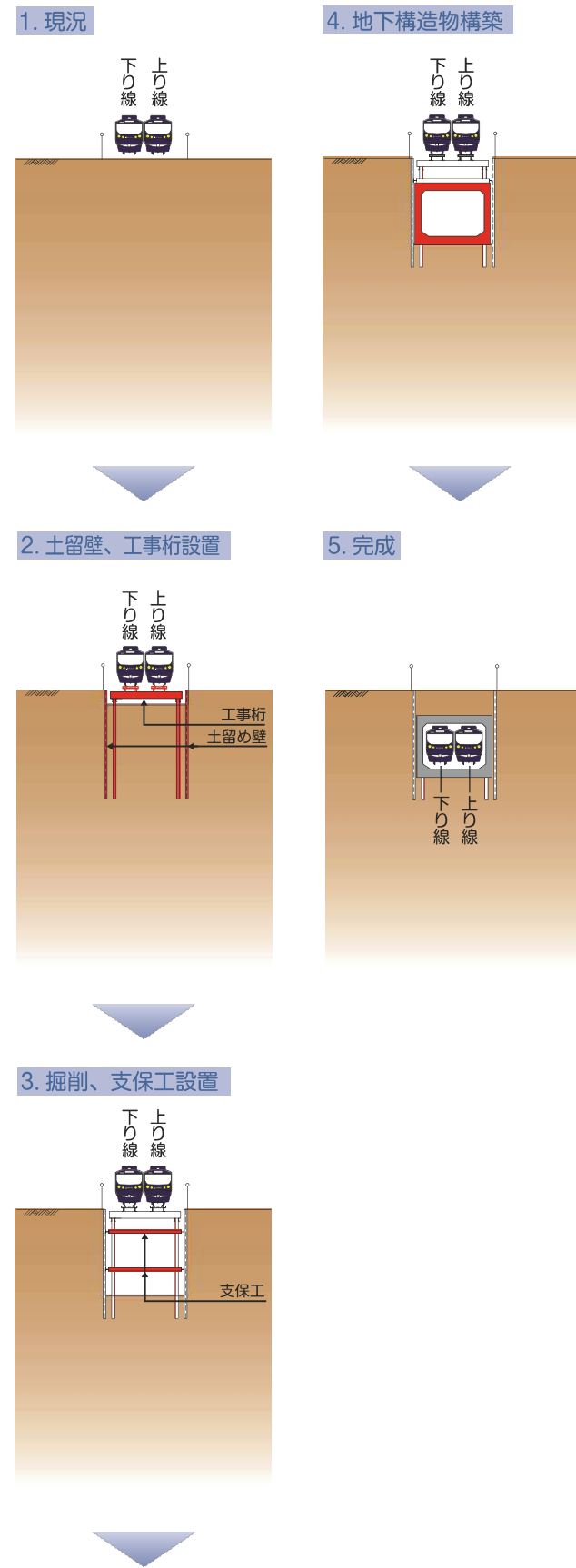
このリーフレットに記載されている計画図やイメージ図は、変更されることがあります。

施工順序図

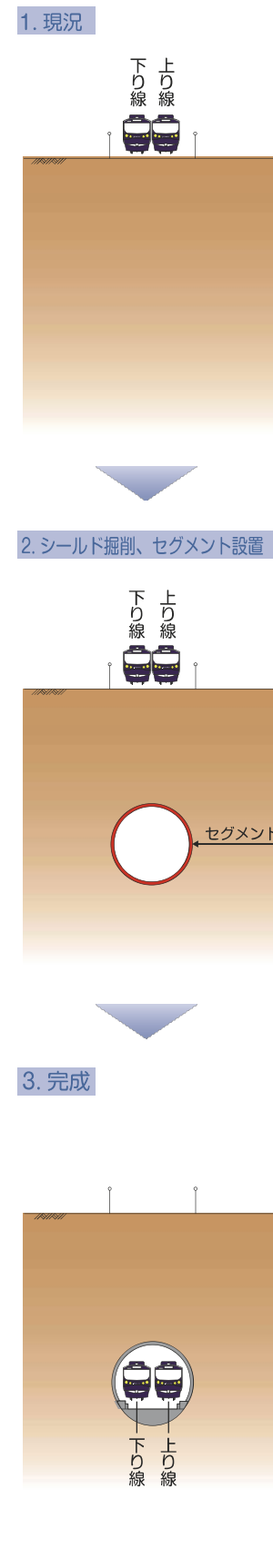
擁壁部 A-A断面



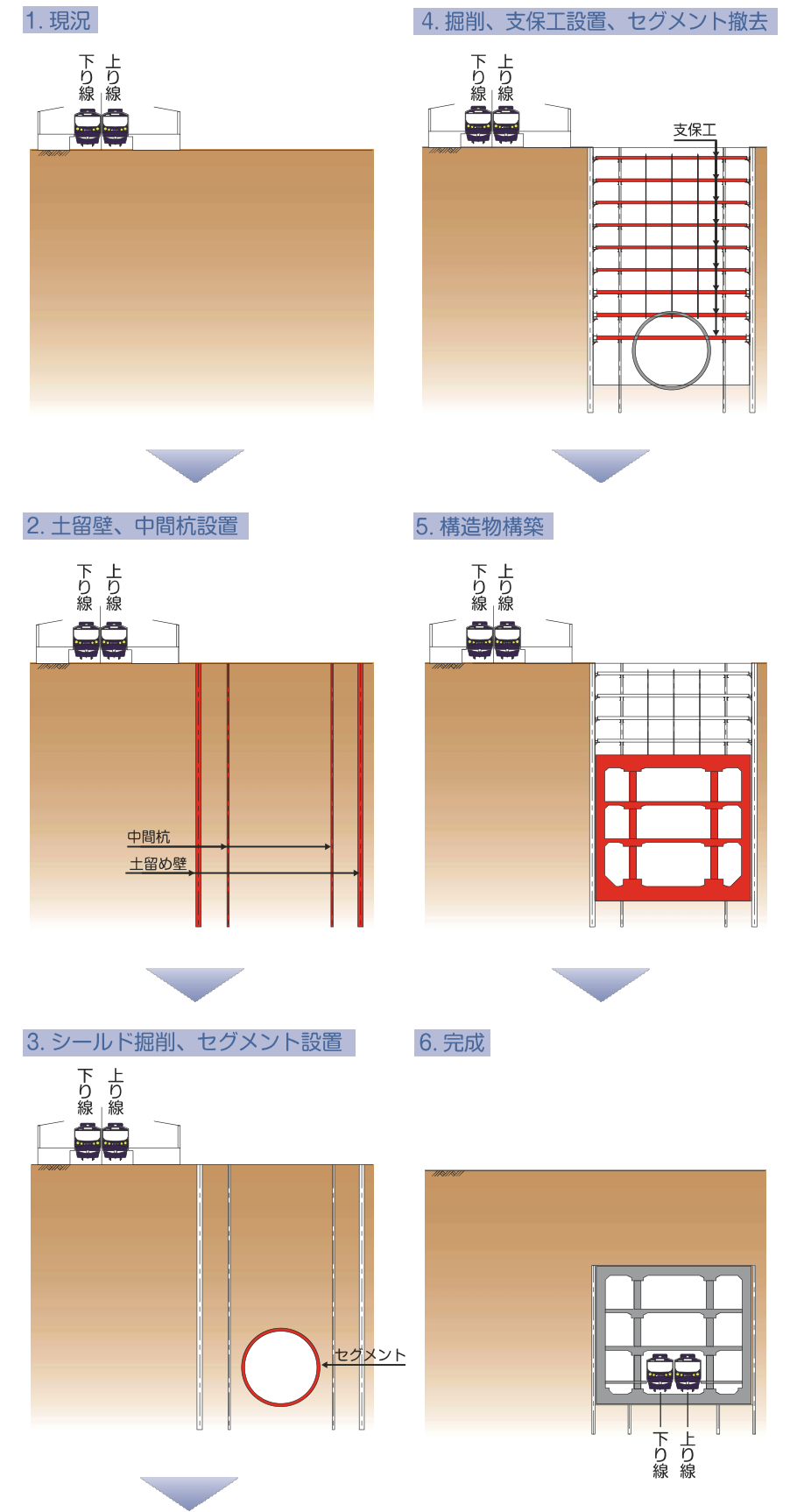
箱型トンネル部 B-B断面



円形トンネル部 C-C断面



箱型トンネル部（駅） D-D断面

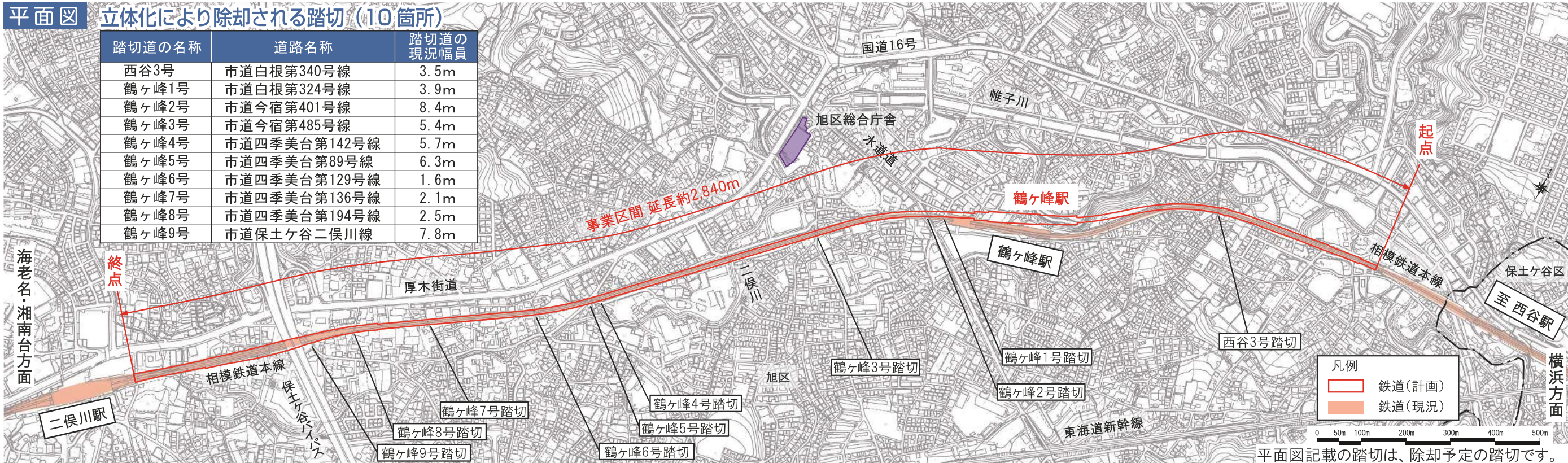


※施工順序は変更になる場合があります

事業計画図

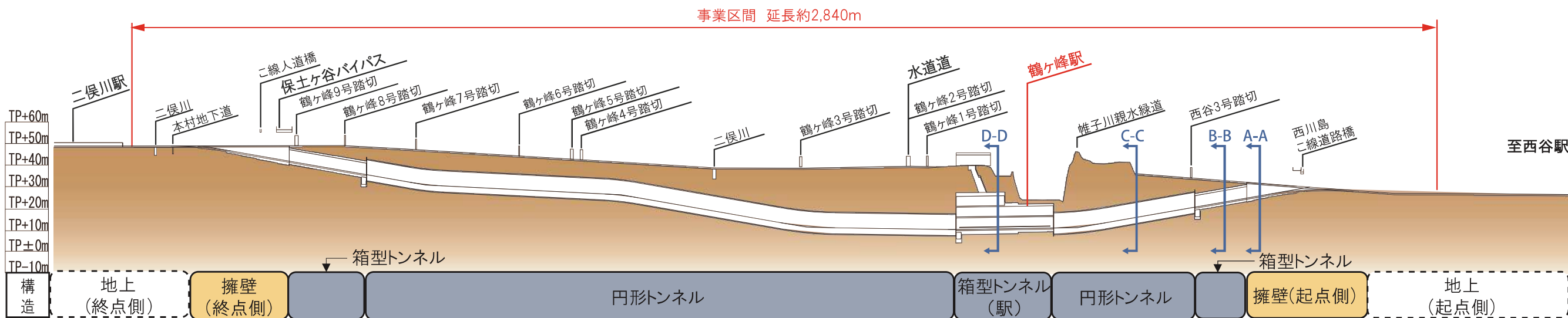
平面図 立体化により除却される踏切 (10箇所)

踏切道の名称	道路名称	踏切道の現況幅員
西谷3号	市道白根第340号線	3.5m
鶴ヶ峰1号	市道白根第324号線	3.9m
鶴ヶ峰2号	市道今宿第401号線	8.4m
鶴ヶ峰3号	市道今宿第485号線	5.4m
鶴ヶ峰4号	市道四季美台第142号線	5.7m
鶴ヶ峰5号	市道四季美台第89号線	6.3m
鶴ヶ峰6号	市道四季美台第129号線	1.6m
鶴ヶ峰7号	市道四季美台第136号線	2.1m
鶴ヶ峰8号	市道四季美台第194号線	2.5m
鶴ヶ峰9号	市道保土ヶ谷二俣川線	7.8m

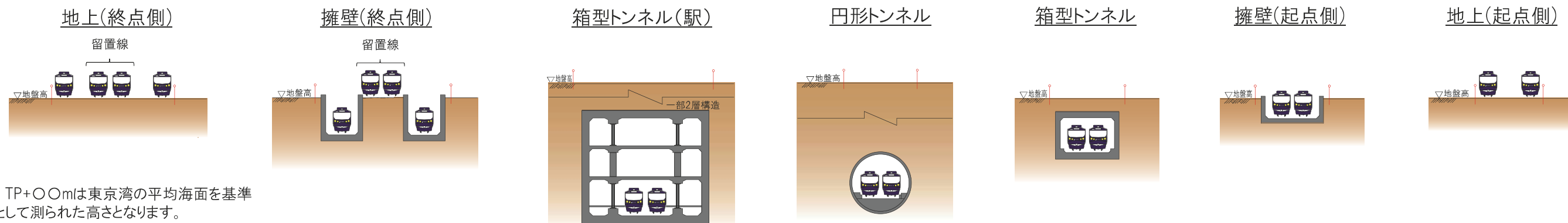


平面図記載の踏切は、除却予定の踏切です。

縦断図 (参考)



断面図 (参考)



TP+〇〇mは東京湾の平均海面を基準として測られた高さとなります。